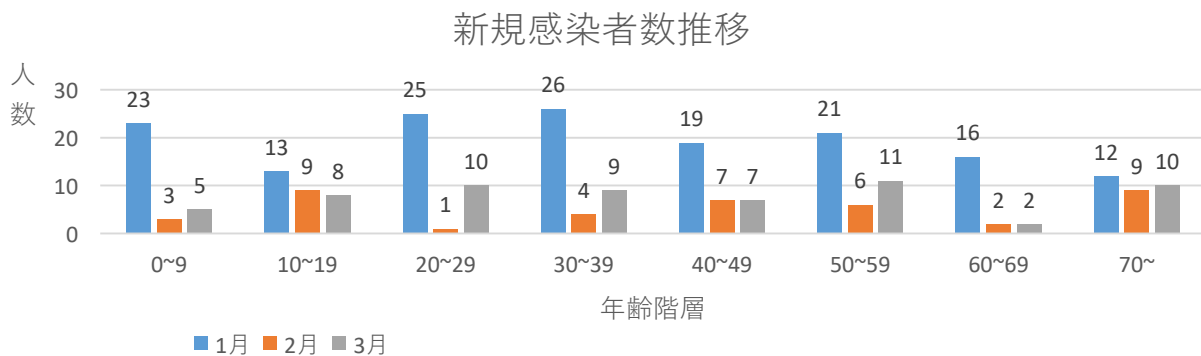
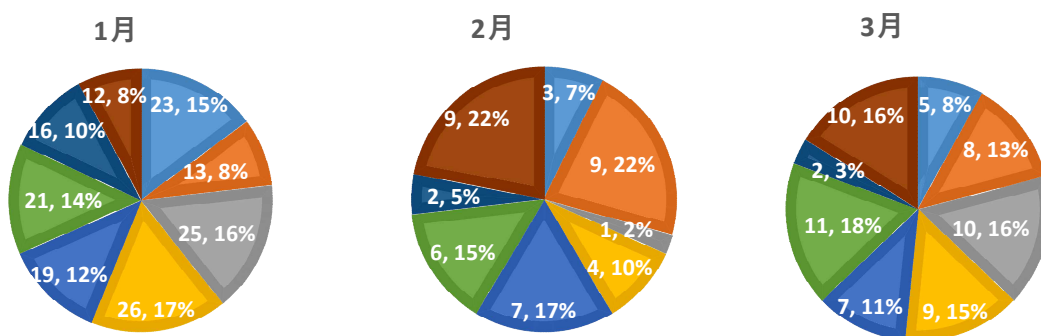


根室市の新型コロナウイルス感染症(1月～3月)



根室市における新型コロナウイルス感染症の発生は、令和2年3人、令和3年63人、令和4年1月から3月末までに258人とこれまでに合計324人の感染者を確認した。当市の感染拡大の傾向として、令和3年、令和4年とも1月に感染者が増加しており、冬休み・年末年始休暇による帰省や感染地域への往来により、普段会わない方との会食機会が増加したことが要因である。また、昨年5月の大型連休明けには、それまでの当市発生の凡そ7割に相当する42名の感染が確認されたように、大型連休明けにも感染の増加がみられる。3月21日に道内に発出されていた「まん延防止等重点措置」が解除となり、道民割などの助成制度も再開となるなど、道内・道外からの観光客等の往来による感染も警戒しなければならない。



根室市内における新型コロナウイルス感染症のり患者を年齢別にみると、昨年まで6割以上が高齢者による感染であったものが、今年に入ってから、30代以下の感染者が6割となるなど逆転現象となっている。今年に入り2件のクラスターが発生し、その一つでは幼児を含む若年者が多く感染し、また検査体制も重点化されたこと、軽症以下の方の自宅療養が感染者数を押し上げている。現在進められている3回目のワクチン接種が進むことで、感染予防効果、重症化リスクが軽減されると言われていることから、未だ接種をされていない方は、正しい知識の下、ワクチン接種を検討していただきますようお願いする。